

2017年12月12日

日伯経済交流促進委員会 / 2017年度活動報告

I. 委員会メンバー

委員長：土屋 信司 (ブラジル三井物産)

副委員長：二宮 康史 (ジェトロ)

副委員長：芦刈 宏司 (ブラジル三井物産)

II. 2017年度活動方針

1. 日伯経済関係の更なる強化を促す両国政府・民間の各種取組を支援。
2. 在伯日本企業の代表として、ブラジルにおける日伯両国間の更なる経済交流促進（特に日伯EPA関連）を推進・支援。

III. 2017年度上半期

1-4月：4月4日リオにて第7回「日伯賢人会議」を開催。2, 3月は主として両国賢人の意見聴取、議題選定に活動主眼をおき行動。結果同会議に於いて

日伯戦略的パートナーシップにおける優先分野として①インフラ（都市交通、穀物輸出回廊）、②産業競争力、③日伯経済連携の推進を確認。又同時に同会議において引き続きブラジル日本商工会議所が推し進めるAGIR活動の支持、表明取付。次回開催は2018年4月ブラジル開催で決定。

5-7月：8月末クリチバにて開催の日伯合同経済委員会に向けての活動主体。CNI、経団連関係者及び関係団体との議題確認、出席者調整。2度に亘るクリチバ出張にてパラナ州政府との同委員会事前打ち合わせを行った。

III. 2017年度下期活動概要

8月：8月 28～29日の二日間に亘り伯国クリチバ市にて第20会日伯合同経済委員会を開催。日伯経済の現状と展望、貿易及び投資、ビジネス環境整備及び今後のビジネス機会、産業戦略及び政策、農業及びインフラ整備、天然資源及びエネルギーの各セッションにおいてパネル方式にて活発に協議。

その後、伯商工会議所及び本邦経団連の夫々において委員会 Summary を報告

9～12月：

来年度賢人会及び日伯合同経済委員会日時調整。夫々4月4日（リオ）、7月末（東京）で開催することを決定。

本邦、伯国関係者との間において来年度議題に就いての摺合せを開始

以上